社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会
令和５年度事業報告

1．事業総括

新型コロナ感染予防のため外出等を避けることを求められ、繋がりを絶たれたことで精神面当等でも健康を損なう人が少なくない状況の中ではあったが、感染症の位置づけも２類相当から５類に移行されたことに伴い、改めて繋がりの大切さを考え、感染対策を徹底しながら事業を展開することができた。

福祉活動専門員を増員し３年が経過したが、誰もが安心して暮らせる町づくりを基本理念に専門機関など、様々な機関とのネットワークづくりや住民主体の活動支援を連絡、調整を行いながら進めることができた。

また、戸倉デイサービスセンターの運営については、介護、看護に携わる職員の高齢化、若年現役世代の介護業界離れで人材確保が非常に厳しいことから南三陸町全体の問題と捉え、指定権者である南三陸町に相談、理事会、評議員会、職員会議そして地域住民との懇談会を開催し、様々なご意見をいただき事業の抜本的な見直しを図った。

法人運営事業

社協の大きな財源の一つである会費は町民各位のご理解の下 90％を超える納入率となったことは、本会の存在を大きく知って頂いたことへの成果だと感じる。今後においても広報を通し広く社協の存在意義を PR していきたい。

また、町委託事業を実施する上で職員を採用し、休暇中の職員に代わり事業を滞りなく展開できたことで介護予防の一定の成果を得ることができた。

地域福祉事業

地域福祉活動計画策定に際し、策定委員、地域住民等多くの方々からご意見、ご協力をいただき、1 年間という短い期間で南三陸町らしい 5 ヶ年の道しるべができた。

また、ボランティア活動においては、前年度より個人ボランティア（3 名）、協力店（4 団体）も増え、新型コロナウィルス 5 類移行に伴い活動回数（152 回増）も通常に戻ったことで活躍の場を提供することができた。

デマンド型乗合バス運営業務も職員を採用して年度途中から受託し、町民の足の確保はもとより、地域に出向くとにより地域、家庭の様々な生活課題をいち早くキャッチし、解決に向け取組むことができた。

介護福祉事業

東日本大震災後、施設の充実を図るためデイサービスを増設し運営してきましたが、将来にわたり持続可能な運営を行うためには、効果的・効率的な運営を行っていく必要がありますので、開所以来 10 年 2 ヶ月にわたり地域に愛され密着型として運営してきた戸倉デイサービスセンターを、惜しまれながらも廃止しました。今後は地域の建物として介護予防等や地域の憩の場としての活用を検討していきます。

介護保険事業は職員数が減少しながらも、昨年度並みの実績を上げることができた。

２．主な取り組み

１．職場環境の整備

（１）研修環境を充実させ、職員の意欲向上及び定着、スキルアップを図るとともに社協職員としての養成に努めた。

（２）介護職員の資格取得支援を実施、雇用している職員が業務に従事しながら勤務の一部として、資格取得に必要な研修等に参加出来るなど、介護分野の人材の確保・育成及び定着を図った。

（３）意見箱の活用を周知し、発言しやすい環境づくりに努めた。

（４）職員個別面談の実施。

（５）全事業所感染防止対策を徹底、全体研修会においての感染症予防対策の再確認及び周知、事業継続ガイドラインによる平時からの備えや感染症発生時の初動対応、感染拡大防止対策の確立等まで、全職員が迷いなく行動できる体制を整え、感染防止に努めた。

（６）健康診断の実施及びインフルエンザ予防接種への助成を実施した。

２．組織体制及び運営基盤の強化

（１）係長会議の定期開催

各事業の運営状況の把握や細部調整等を行った。

（２）地域福祉会議の定期開催

各事業の運営状況、現状把握・情報共有、方向性等を検討、効率的かつ効果的な事業運営の基盤づくり及び強化に努めた。

（３）介護保険事業管理者会議の定期開催

各事業所との情報交換及び共有を図り、質の向上と効率的な運営に努めた。

（４）地域福祉事業月例総括会議の定期開催

現状及び経過報告による情報共有及び方向性の確認、町民がいきいき元気にかつ安心して暮らせるよう努めた。

（５）諸規程の制定や一部改正を行い、組織運営の基盤強化及び職員の労働意欲向上を図った。

３．地域支え合い活動の推進

（１）結の里を拠点に結の里運営協議会が中心となり、常に現状に合わせた世代間交流とコミュニティづくり事業の推進を図った。

（２）持続可能な人づくり関係づくりが実現できるよう、後方支援を継続しながら近隣による見守りや支え合い活動を推進した。

４．ボランティア活動の推進

（１）共にささえあう地域づくりを推進するため、ほっとバンク（登録者213人）、民生委員・児童委員、町内会などの自治会組織、福祉関係機関、団体等と積極的に連携･協働して地域福祉活動を展開した。

（２）地域住民自らがボランティア活動に参加する機会の創出を作り、子どもから高齢者まで「自分に出来る事」でボランティア精神の醸成を図った。

３．重点事業取り組み

３－１　法人運営事業　総務課総務係

事業全体の経営資源を適切に管理、総合的かつ計画的な事業執行を行うため経営基盤の充実を図り、組織管理、事業運営の基盤づくりに努めた。

地域に開かれた組織として、運営の透明性と中立性、公平さの確保を図るとともに事業展開にあっては住民主体、住民参加をその基本とし取り組んだ。

（1）理事会開催状況

第１回理事会	日　時	5 年 6 月 7 日（水曜日）午後 1 時 28 分～午後 3 時 23 分
	場　所	総合ケアセンター南三陸　2 階　大会議室
	内　容	報告 1 号：会長の専決事項 報告 2 号：会長の業務報告 承認 1 号：令和 4 年度事業報告 承認 2 号：令和 4 年度一般会計収入支出決算 議案 1 号：デマンド交通事業の受託 議案 2 号：令和 5 年度一般会計収入支出補正予算 議案 3 号：第１回評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定
	理　事	出席：８名　　欠席：０
	監　事	出席：２名　　欠席：０
第２回理事会	日　時	5 年 6 月 23 日（金曜日）午後 1 時 32 分～午後 1 時 48 分
	場　所	総合ケアセンター南三陸　2 階　多目的室
	内　容	議案 1 号：会長・副会長の選定 議案 2 号：第三者委員の選定
	理　事	出席：８名　　欠席：０
	監　事	出席：２名　　欠席：０
第３回理事会	日　時	5 年 9 月 25 日（月曜日）午後 1 時 28 分～午後 3 時 52 分
	場　所	総合ケアセンター南三陸　2 階　多目的室
	内　容	報告 1 号：会長の専決事項 議案 1 号：臨時及びパート雇用職員就業規程の一部改正 議案 2 号：嘱託職員就業規程の一部改正
	理　事	出席：８名　　欠席：０
	監　事	出席：２名　　欠席：０

第４回 理事会	日　時	6 年 1 月 26 日（金曜日）午後 1 時 25 分～午後 2 時 30 分
	場　所	総合ケアセンター南三陸　2 階　多目的室
	内　容	議案 1 号：デイサービスセンターとぐら地域密着型通所介護事業運営規程の廃止 議案 2 号：デイサービスセンターしづがわ地域密着型通所介護事業運営規程の廃止 議案 3 号：デイサービスセンターしづがわ指定通所介護運営規程制定 議案 4 号：第２回評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定
	理　事	出席：８名　　欠席：０
	監　事	出席：２名　　欠席：０
第 5 回 理事会	日　時	6 年 3 月 15 日（金曜日）午後 1 時 26 分～午後 3 時 55 分
	場　所	総合ケアセンター南三陸　2 階　多目的室
	内　容	報告 1 号：会長の専決事項 報告 2 号：会長の業務報告 議案 1 号：資格取得等費用助成規程制定 議案 2 号：事務局組織規程の一部改正 議案 3 号：職員給与規程の一部改正 議案 4 号：臨時及びパート雇用職員就業規程の一部改正 議案 5 号：嘱託職員就業規程の一部改正 議案 6 号：デイサービスセンターいりや地域密着型通所介護事業運営規程の一部改正 議案 7 号：デイサービスセンターうたつ指定通所介護事業運営規程の一部改正 議案 8 号:指定居宅介護支援事業運営規程の一部改正 議案 9 号:指定訪問介護事業運営規程の一部改正 議案 10 号:障害者総合支援法に基づく居宅介護事業運営規程の一部改正 議案 11 号:役員等賠償責任保険契約締結 議案 12 号:令和５年度一般会計収入支出補正予算 議案 13 号:令和６年度事業計画 議案 14 号:令和６年度一般会計収入支出予算 議案 15 号:第３回評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定
	理　事	出席：６名　　欠席：２
	監　事	出席：２名　　欠席：０

（２）評議員会開催状況

第１回 評議員会	日　時	5 年 6 月 23 日（金曜日）午前 10 時 5 分～午前 11 時 51 分
	場　所	総合ケアセンター南三陸　2 階　多目的室
	内　容	承認 1 号：令和 4 年度事業報告 承認 2 号：令和 4 年度一般会計収入支出決算 議案 1 号：令和 5 年度一般会計収入支出補正予算 議案 2 号：役員の任期満了に伴う次期役員の選任
	評議員	出席：１４名　　欠席：２名
	監　事	出席：　２名　　欠席：０
第２回 評議員会	日　時	6 年 2 月 5 日（月曜日）午後 1 時 30 分～午後 2 時 45 分
	場　所	総合ケアセンター南三陸　2 階　多目的室
	内　容	議案 1 号：デイサービスセンターとぐら運営規程の廃止 議案 2 号：デイサービスセンターしづがわ運営規程の廃止 議案 3 号：デイサービスセンターしづがわ指定通所介護運営規程制定
	評議員	出席：１４名　　欠席：２名
第３回 評議員会	日　時	6 年 3 月 25 日（月曜日）午後 1 時 29 分～午後 2 時 38 分
	場　所	総合ケアセンター南三陸　2 階　多目的室
	内　容	議案 1 号：令和 5 年度一般会計収入支出補正予算 議案 2 号：令和 6 年度事業計画 議案 3 号：令和 6 年度一般会計収入支出予算
	評議員	出席：１３名　　欠席：３名

（３）監査会開催状況

第１回 監査会	日時	5 年 5 月 25 日（木曜日）午前 9 時 55 分～午前 11 時 45 分
	場所	総合ケアセンター南三陸　2 階　多目的室
	内容	令和 4 年度事業報告について 令和 4 年度一般会計収入支出決算について
	理　事	出席：１名
	監　事	出席：２名　　欠席：０

（4）月別事業

4　月　内　容		場　　所
3	辞令交付式	総合ケアセンター多目的室
4	声の広報	志津川東復興住宅第２集会所
7	新任職員研修会（正職員１名、嘱託職員１名）	総合ケアセンター多目的室
11	南三陸町民生委員児童委員協議会総会	総合ケアセンター大会議室
12	日常生活自立支援事業　新規採用者辞令交付１名 生活支援員新規採用者オリエンテーション	総合ケアセンター多目的室
13	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
19	第１回広報委員会	志津川東復興住宅第２集会所
	第１回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
20	地域福祉会議	志津川東復興住宅第２集会所
25	交通安全対策協議会	総合ケアセンター大会議室
26	日常生活自立支援事業判定会議（1 名）	総合ケアセンター多目的室
29	7+5 周年記念イベント	結の里

5　月　内　容		場　　所
1	声の広報	志津川東復興住宅第２集会所
12	南三陸町行政区長会議 （地域福祉活動計画に係るアンケート調査依頼）	ベイサイドアリーナ文化ホール
15	熱海女性連絡会来所	結の里
	地域公共交通会議	南三陸町役場
16	係長会義	志津川東復興住宅第２集会所
17	第２回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
19	面接：デマンド交通担当１名	総合ケアセンター多目的室
	介護福祉課管理者会議	老人福祉センター
22	南三陸町身体障害者福祉協会監事会	総合ケアセンター多目的室
	南三陸町身体障害者福祉協会総会	総合ケアセンター多目的室
	第１回地域福祉活動計画策定委員会	志津川東復興住宅第２集会所
23	南三陸町遺族会監事会	総合ケアセンター多目的室
	南三陸町遺族会総会	総合ケアセンター大会議室
25	社協第１回監査会	総合ケアセンター多目的室
	県共同募金会南三陸町共同募金委員会第１回監査会	総合ケアセンター多目的室
26	復興庁来所	事務局
	いきいき百歳体操事業会議	総合ケアセンターいきいきルーム
29	面接：デマンド交通担当１名	総合ケアセンター多目的室
30	地域づくりあれこれ	志津川東復興住宅第２集会所

6　月　内　容		場　　所
1	災害公営住宅LSA配置事業話し合い	総合ケアセンターいきいきルーム
	キャップハンディ体験打ち合わせ：戸倉小学校	事務局
2	デマンド交通事業業務契約書について打ち合わせ	南三陸町役場
5	復興祈念公園草刈り	復興祈念公園
6	結の里運営協議会	志津川東復興住宅第２集会所
7	社協第１回理事会	総合ケアセンター大会議室
	南三陸町共同募金委員会第１回運営委員会	総合ケアセンター大会議室
8	キャップハンディ体験会	戸倉小学校５学年
12	結のペナント贈呈式	入谷小学校・名足小学校
14	地域福祉会議	志津川東復興住宅第２集会所
15	辞令交付（採用：パート職員１名）	事務局
	新任職員研修会（パート１名）	総合ケアセンター多目的室
	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
	第３回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
19	新任職員研修会（臨時１名）	総合ケアセンター多目的室
20	重層事業説明会	総合ケアセンターいきいきルーム
22	介護福祉課管理者会議	老人福祉センター
23	社協第１回評議員会	総合ケアセンター多目的室
	社協第２回理事会	総合ケアセンター多目的室
26	新任職員研修会（臨時１名、パート１名）	総合ケアセンター多目的室
27	南三陸町障害者自立支援協議会	
28	県老連評議員会　南三陸町老ク会長出席の随行	仙台市
29	暮らしとコミュニティ推進部会	ベイサイドアリーナ文化ホール

7　月　内　容		場　　所
3	声の広報	結の里　相談室
4	日常生活自立支援事業判定会議（1名）	総合ケアセンター多目的室
7	キャップハンディ体験会	歌津中学校３学年
10	公認会計士 岡原宏一先生来所：会計指導　～11日	事務局
11	重層事業打ち合わせ	総合ケアセンターいきいきルーム
12	気仙沼地域生活保護等受給者就労自立促進事業協議会	気仙沼職業安定所
14	復興祈念公園草刈り	復興祈念公園
19	第２回広報委員会	志津川東復興住宅第２集会所
	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
	第４回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
20	第１回福祉健康まつり実行委員会	結の里（オンライン）

21	老人福祉センター草刈り	老人福祉センター
	介護福祉課管理者会議	老人福祉センター
25	南三陸町老人クラブ連合会監事会	総合ケアセンター多目的室
	南三陸町老人クラブ連合会総会	総合ケアセンター多目的室
26	愛の手をつなぐ親の会監事会	総合ケアセンター多目的室
	愛の手をつなぐ親の会総会	総合ケアセンター多目的室

８　月　内　容		場　　所
1	声の広報	結の里
10	日常生活自立支援事業担当者会議	美里町
	総合ケアセンター草刈り作業	
16	思い出写真お焚き上げ	大雄寺
18	南三陸町戦没者追悼式準備	ベイサイドアリーナ
19	南三陸町戦没者追悼式	ベイサイドアリーナ
23	地域福祉会議	志津川東復興住宅第２集会所
	第５回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
24	介護職員面接（１名）	総合ケアセンター多目的室
25	南三陸町交通安全対策協議会	総合ケアセンター大会議室
	宮城県共同募金担当者会議（オンライン）	結の里
	介護福祉課看護師業務改善会議	老人福祉センター
27	24 時間テレビチャリティーイベント結の夏祭り	結の里
30	いきいき百歳体操事業定例会議	総合ケアセンターいきいきルーム
	令和５年度社協会費依頼	69 行政区長宅
31	安全運転管理者講習	ベイサイドアリーナ
	辞令交付（臨時職員１名退職）	事務局

９　月　内　容		場　　所
1	声の広報	志津川東復興住宅第２集会所
	災害時相互支援協定に基づく情報伝達訓練	
	辞令交付（嘱託職員１名）	通所介護入谷
	地域公共交通会議	総合ケアセンター大会議室
4	日常生活自立支援事業判定会議（1 名）	総合ケアセンター多目的室
6	コミュニティソーシャルワーク研修会	仙台市
7	コミュニティソーシャルワーク研修会	仙台市
8	復興祈念公園草刈り作業	復興祈念公園
	第２回地域福祉活動計画策定委員会	いりやど
13	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
14	第２回福祉健康まつり実行委員会	結の里（オンライン）

	地域福祉活動計画打ち合わせ	結の里
15	介護福祉課管理者会議	老人福祉センター
19	令和５年度シルバーリーダー研修会	仙台市
20	第６回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
25	社協第３回理事会	総合ケアセンター多目的室
27	日常生活自立支援事業地域別研修会	本吉町
28	生活支援体制事業「なぜ社協？これからどうする？どうなる？」研修会	登米市中田町
29	赤い羽根共同募金依頼	69 行政区長宅
29	辞令交付（退職１名）	事務局

１０　月　内　容		場　　所
2	辞令交付（異動）	各配属事業所
	声の広報	志津川東復興住宅第２集会所
5	町老連グラウンドゴルフ大会実行委員会	総合ケアセンター多目的室
6	職員健康診断	老人福祉センター
11	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
	日常生活自立支援事業担当者会議	登米市迫町
12	重層事業打ち合わせ	総合ケアセンター１Ｆ応接室
18	第３回広報委員会	志津川東復興住宅第２集会所
	地域福祉会議	志津川東復興住宅第２集会所
19	グラウンドゴルフ大会（町老連主催）	松原公園グラウンド
	第７回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
20	正職員会議	総合ケアセンター多目的室
23	第３回福祉健康まつり実行委員会	志津川東復興住宅第２集会所
25	採用面接（訪問介護員）	老人福祉センター
27	南三陸町遺族会移動研修会	宮城県護國神社・松島
27	令和５年度市町村社会福祉協議会連絡会県北圏域会議	登米市
	介護福祉課管理者会議	老人福祉センター
	大津市社会福祉協議会 会長・事務局次長視察	事務局・結の里
31	災害支援圏域研修会打ち合わせ（オンライン）	事務局

１１　月　内　容		場　　所
1	声の広報	志津川東復興住宅第２集会所
2	いきいき百歳体操事業打ち合わせ	ケアセンターいきいきルーム
8	南三陸町総合計画打ち合わせ（午前）	総合ケアセンター多目的室
	地域福祉活動計画打ち合わせ（午後）	総合ケアセンター多目的室
9	第 69 回宮城県社会福祉大会	仙台市

10	福祉健康まつり準備	ベイサイドアリーナ
11	福祉健康まつり	ベイサイドアリーナ
13	職員面談	戸倉デイ・居宅
14	丹波市災害支援ボランティアネット丹 来所	事務局
15	第 8 回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
	職員面談	入谷デイ・東西集会所
16	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
	市町村老連会長・事務局会議	仙台市
17	職員面談	入谷デイ
20	職員面談	志津川東復興住宅第２集会所
21	地域共生社会推進会議	仙台市
22	宮城県共同募金会巡回訪問	結の里
	職員面談	老人福祉センター
27	職員面談	志津川東復興住宅第２集会所
28	職員面談	志津川東復興住宅第２集会所
29	職員面談	志津川東復興住宅第２集会所
	第 3 期地域福祉計画策定及び第 2 期地域福祉活動計画策定に向けた住民懇談会	入谷公民館
30	第 3 回地域福祉活動計画策定委員会	志津川東復興住宅第２集会所
	第 3 期地域福祉計画策定及び第 2 期地域福祉活動計画策定に向けた住民懇談会	戸倉公民館

１２　月　内　容		場　　所
1	声の広報	志津川東復興住宅第２集会所
	職員面談	老人福祉センター
4	暮らしとコミュニティ推進部会	ベイサイドアリーナ
	県北圏域の社協職員情報共有・交流研修に関する打合せ	大崎市
	職員面談	老人福祉センター
5	職員面談	志津川東復興住宅第２集会所
	地域福祉活動計画策定委員会振返り	結の里
	第 3 期地域福祉計画策定及び第 2 期地域福祉活動計画策定に向けた住民懇談会	歌津総合支所
6	宮城県社会福祉大会受賞者へ表彰状伝達	志津川地区受賞区長宅
	南三陸町民生委員児童委員協議会新任研修会	総合ケアセンターいきいきルーム
	第 3 期地域福祉計画策定及び第 2 期地域福祉活動計画策定に向けた住民懇談会	生涯学習センター
11	介護保険法改正および 2024 年介護報酬改定、最新情報と生き残り戦略セミナー　（オンライン）	総合ケアセンター多目的室

12	日常生活自立支援事業判定会議（1 名）	総合ケアセンター多目的室
13	令和 5 年度災害公営住宅常駐型生活支援員配置事業に係る定期検査	総合ケアセンターいきいきルーム
14	令和 5 年度福祉サービスの苦情解決に関する研修会【第三者委員対象】　　（オンライン）	総合ケアセンター多目的室
	福祉健康まつり実行委員会振返り	志津川東復興住宅第２集会所
	12/12 発生の火災：火災見舞（南三陸町志津川地区）	
15	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
	第 43 回宮城県老人クラブ大会	女川町生涯学習センター
19	秋田市及びいわき市災害ボランティアセンター運営に係る職員派遣振返り会議（オンライン）	事務局
20	第 9 回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
26	日常生活自立支援事業通信訓練（メールにて）	事務局
27	南三陸町長、副町長、総務課長来所（挨拶）	事務局
	仕事納め：全事業所まわり	戸倉デイサービス
28	仕事納め：全事業所まわり　　会長・事務局長	各事業所

6　年　1　月　内　容		場　　所
4	仕事始め：全事業所まわり　　会長・事務局長	各事業所
	南三陸町新年懇談会　会長・事務局長出席	総合ケアセンター大会議室
5	令和 6 年歌津地区新春のつどい　会長出席	歌津公民館会議研修室
	声の広報	志津川東復興住宅第２集会所
7	令和 5 年度南三陸町二十歳の輝き式典	ベイサイドアリーナ交流ホール
10	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
11	高齢者芸能発表会打ち合わせ	事務局
10	新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う会議	志津川東復興住宅第２集会所
12	権利擁護研修会	総合ケアセンター大会議室
17	南三陸町高齢者芸能発表会（町老連主催）	ベイサイドアリーナ文化ホール
18	第 10 回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
19	地域福祉活動計画策定委員会	いりやど
	介護福祉課管理者会議	老人福祉センター
22	第 4 回広報委員会	志津川東復興住宅第２集会所
	地域福祉活動計画策定委員会振返り	結の里
23	令和 5 年度日常生活自立支援事業担当者研修会	仙台市
25	災害ボランティアセンター運営システム Kintone 勉強会	事務局（オンライン）
26	社協第 4 回理事会	総合ケアセンター多目的室
29	地域福祉活動計画打ち合わせ	結の里
30	南三陸町行政区長会議　　三浦事務局長出席	平成の森

6　年　2　月　内　容		場　　所
1	地域共生社会推進会議	仙台市
2	声の広報	志津川東復興住宅第２集会所
5	社協第 2 回評議員会	総合ケアセンター多目的室
6	地域づくりのあれこれ	志津川東復興住宅第２集会所
8	救命胴衣実証実験	いりやど
14	戸倉デイサービス廃止についての地区説明会	戸倉公民館
	地域福祉会議	志津川東復興住宅第２集会所
15	第 11 回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
16	県内社会福祉協議会事務局長会議	仙台市
21	正規職員内部登用試験（受験者１名）	総合ケアセンター多目的室
22	石川県珠洲市へ災害ボランティア出発式	結の里
22	～25 日　災害ボランティア活動	石川県珠洲市内

6　年　3　月　内　容		場　　所
1	声の広報	志津川東復興住宅第２集会所
	石川県珠洲市災害ボランティア活動報告会	食堂松原
	春季火災予防運動（3/1～7）	
6	正職員採用試験（受験者１名）	総合ケアセンター多目的室
7	デイサービスセンターしづがわ現地調査	デイサービスしづがわ
8	社協介護サービス経営検討委員会（オンライン）	事務局
13	第 12 回社協職員全体研修会 （石川県珠洲市災害ボランティア報告会）	志津川東復興住宅第２集会所
15	社協第 5 回理事会	総合ケアセンター多目的室
	南三陸町共同募金委員会第 2 回運営委員会	総合ケアセンター多目的室
18	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
22	暮らしとコミュニティ推進部会	ベイサイドアリーナ文化ホール
25	社協第 3 回評議員会	総合ケアセンター多目的室
27	南三陸町交通安全対策協議会	総合ケアセンター大会議室
29	ひがし幼児園・マリンパル保育園・にじのわ歌津・あさひ幼稚園へ寄附金による物品贈呈式	各私立幼稚園等
	辞令交付式	総合ケアセンター多目的室

５年度社協職員全体研修会

月　日	研修内容	参加人数	講師等
4 月 19 日	非常災害時の対応	34 名	本会事務局長：三浦真悦氏
5 月 17 日	認知症フォローアップ研修 「認知症の人の理解と対応」	37 名	㈱悠久会認知症型通所介護 認知症介護指導者：熊谷光二氏
6 月 15 日	感染症の基礎知識と対策について	31 名	（気保福）疾病対策班保健師 小向結希氏・畠山紗枝氏
7 月 19 日	リスクマネジメント 「～未然に防ぐ方法を学ぶ～」	34 名	オンワード・マエノ 代表取締役：内田大介氏
8 月 23 日	コミュニケーションツール ～対人援助～	34 名	本会地域福祉係長：髙橋吏佳氏
9 月 20 日	プライバシー保護	29 名	宮城県介護福祉士会　代表理事 会長：雫石理枝氏
10 月 19 日	レクリエーション技法	31 名	日本レクリエーション協会公認指導者：粕谷義昭氏
11 月 15 日	身体拘束・虐待防止	30 名	㈱悠久会認知症型通所介護 認知症介護指導者：熊谷光二氏
12 月 20 日	メンタルヘルスマネジメント 職場内で上手くいくコミュニケーション	29 名	みやぎ心のケアセンター 精神保健福祉士：上杉亜矢氏
1 月 18 日	接遇	29 名	宮城県介護福祉士会　代表理事 会長：雫石理枝氏
2 月 15 日	生活援護事業について	21 名	本会主事兼福祉活動専門員 吉田透氏
3 月 13 日	能登半島地震　石川県珠洲市 災害ボランティア報告会	31 名	本会地域福祉係長：髙橋吏佳氏

（５）日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方が地域において安心して生活が送れるよう、利用者との契約・支援計画に基づき定期的に訪問し金銭管理を支援した。

情報交換・共有、現状把握の徹底及び専門員への報告・連絡等を密にし、異変の早期対応に繋げ、利用者の不安軽減・解消に努めた。

●研修実施状況　　：地域別研修会１回（5 年 9 月 27 日）
●新規利用判定会議：４回
●生活支援員数　　：８名
●新規利用者数　　：４名
●解約（異動）者数：1 名
●利用者実人数　　：１６名（４年度：実人数１５名）

月　別 地区別	４月	５月	６月	７月	８月	９月
志津川（実人数）	８	９	９	１０	１０	１０
歌　津（実人数）	５	５	５	５	５	６
計	１３	１４	１４	１５	１５	１６
（支援延回数）	２７	３２	３１	３１	３８	３３
月　別 地区別	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
志津川（実人数）	１０	１０	１０	１０	１０	１０
歌　津（実人数）	６	６	６	６	６	６
計	１６	１６	１６	１６	１６	１６
（支援延回数）	３９	３８	４１	３８	３１	３１

（６）フードバンク事業（食糧銀行）

生活協同連合会と提携し福祉ニーズ等により、食品を必要としている人に対し提供した。食品の無駄をなくし、有効活用を実現するとともに社会福祉に寄与することを目的とし実施した。

【実利用人数】　　１２名（４年度１２名）　　（　）内は、前年度

月　別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月
延べ利用人数	２	４	４	３	４	３	５
月　別	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計	
延べ利用人数	６	５	４	０	４	４４（３４名）	

（７）南三陸町民生委員児童委員協議会との連携

地域住民の一員としてそれぞれが担当する区域で、生活上の様々な相談に応じ行政をはじめ適切な支援サービスへの「つなぎ役」としての役割を果たす南三陸町民生委員児童委員と情報提供・共有、連携を密に行い、支援を必要とする方々がスムーズ且つ適切なサービスに繋がるよう、連携した。

（８）生活福祉資金貸付事業

宮城県社会福祉協議会が実施主体となり、低所得世帯や高齢者世帯、障害者世帯の生活を経済的に支えるとともに、各関係機関と情報共有を行いながら、その在宅福祉及び社会参加の推進を図ることを目的とした貸付を実施した。

また、緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付の償還が始まり、償還に対する不安を持つ世帯について、生活状況や今後の償還計画についての生活相談会を実施した。

●相談・申込状況　　（　　）内は、前年度

月　別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月
実 人 数	1	1	0	2	2	1	0
相談件数	1	1	0	2	3	1	0
決定件数	1	0	0	0	0	0	0
月　別	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計	
実 人 数	1	0	0	0	5	１３（４９）	
相談件数	3	0	0	0	5	１６（７２）	
決定件数	1	0	0	0	0	２（１３）	

●貸付状況　　（　　）内は、前年度

種　別	貸付件数合計	新規貸付	滞納世帯
総合支援資金	１２（２１）	０（６）	１（３）
福祉資金	０（０）	０（０）	０（０）
教育支援資金	４（３）	１（０）	０（０）
生活復興支援金	１（１）	０（０）	１（１）
更生資金	２（２）	０（０）	２（２）
更生資金（障害者）	１（１）	０（０）	１（１）
福祉資金（住宅）	１（１）	０（０）	１（１）
緊急小口資金	３３（３８）	１（７）	１６（１６）
合　　計	５４（６７）	２（１３）	２２（２４）

（９）生活安定資金貸付事業

低所得者に対し、小口の貸付と必要な援助指導を行い、自立更生と生活安定に寄与することを目的とする貸付制度を実施した。

●相談・申込み状況　（単位：円）

月　別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月
相　談	2	1	0	1	0	1	0
申　込	2	0	0	1	0	1	0
決　定	2	0	0	1	0	1	0
貸付額	100,000	0	0	50,000	0	50,000	0
償　還	1	2	2	0	3	1	3
償還額	5,000	12,000	12,000	0	25,000	5,000	25,000
月　別	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計	
相　談	0	0	0	0	2	７（５）	
申　込	0	0	0	0	0	４（２）	
決　定	0	0	0	0	0	４（２）	
貸付額	0	0	0	0	0	200,000（120,000）	
償　還	0	5	1	2	0	２０（４）	
償還額	0	62,000	10,000	15,000	0	171,000（40,000）	

※令和６年３月３１日現在：６件　166,000 円貸付中　（　　）内は、前年度

(10) 善意銀行事業

●指定寄付金による払い出しでの希望物品の贈呈。　合計５０７，２２５円

①入谷ひがし幼児園：（カラー竹馬 10 台、なかよしレール平均台１台、マスセットウッドブロック 3 個、街と鉄道あそびデラックス１セット、トミカわいわいセット１個）

②あさひ幼稚園：（グリルプレイハウス）

③マリンパル保育園：（防災頭巾、防災ヘルメット、日本の昔ばなし全６巻、ちよがみ、飯茶碗、砂場用除菌剤）

④にじのわ歌津：（オーダーラック）

●火災見舞金の払い出し。

①12/12 発生の火災（南三陸町志津川地区）３０，０００円

(11) 助成事業　※園児１人／２，０００円

福祉団体等に対し、円滑な組織運営や活動を行われるように助成金を交付。

① 入谷ひがし幼児園　７０，０００円（園児３５名）

② あさひ幼稚園　６２，０００円（園児３１名）

③ マリンパル保育園　１０，０００円（園児５名）

④ 南三陸町人権擁護委員会２０，０００円

(12) 南三陸町老人福祉センター管理運営事業

町民の福祉向上を図るため、施設提供や各種の相談対応、健康増進や教養の向上、活動のための便宜等を図った。また職員の職場健診や研修会、デイサービス行事等の場所提供便宜を図った。

《利用実績》　　（　　）内は、前年度

月　別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月
利用人数	0	4	5	6	6	4	５８
利用回数	0	1	1	1	1	1	2
月　別	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計	
利用人数	5	１３	5	4	5	１１５（１８４）	
利用回数	1	2	1	1	1	１３（１４）	

(13) 事務受託団体

①南三陸町老人クラブ連合会：屋外活動（グラウンドゴルフ大会）を開催。
屋内行事（高齢者芸能発表会）を開催。

②南三陸町愛の手をつなぐ親の会

③南三陸町身体障害者福祉協会

④南三陸町遺族会：護國神社参拝及び移動研修会を実施。

⑤南三陸町共同募金委員会：運営委員会２回開催

(14) いきいき百歳体操事業：受託事業

専門的知見を活かした介護予防の取り組みを基に、誰もが参加できる効果的な介護予防を推進、生活地域の通いの場を活かし住民が主体的に実施することで、見守りや支え合いなどの地域づくりに繋がるよう、南三陸町地域包括支援センター及び関係機関と連携を図りながら、住民の自主性の向上に努めた。

継続支援や定期的な体力測定等を行い意識向上を図るとともに健康運動指導士、理学療法士や作業療法士の専門的知見を活かしたアドバイスでフレイル予防、筋肉の向上・維持に繋げた。いきいき百歳体操の継続、体験会の普及啓発を目的とした「いきいき百歳体操交流会」を開催し、実施団体だけでなく民生委員、保健推進員等の参加もあり、地域とのつながりの場となった。(参加者 89 名)

①事業実績　　※５年度新規団体数：１団体　　（　　）内は、前年度

月	団 体 数	訪問回数	全 人 数	月	団 体 数	訪問回数	全 人 数
4 月	28（26）	1（14）	366（377）	10 月	28（28）	6（11）	363（361）
5 月	28（26）	9（13）	364（376）	11 月	28（28）	7（10）	363（361）
6 月	28（27）	11（11）	366（366）	12 月	28（28）	10（14）	368（364）
7 月	28（28）	7（9）	370（379）	1 月	28（28）	6（10）	360（364）
8 月	28（28）	4（0）	370（379）	2 月	29（28）	6（7）	364（366）
9 月	28（28）	6（2）	370（360）	3 月	29（28）	5（0）	367（366）

３－２地域福祉事業　総務課地域福祉係

❶福祉活動専門員設置事業

（１）広報活動

①社協だよりの発行

号数	発行日	印刷部数	号数	発行日	印刷部数
62 号	5 月 1 日	6,000 部	64 号	11 月 1 日	6,000 部
63 号	8 月 1 日	6,000 部	65 号	2 月 1 日	6,000 部

②社協公式ホームページの運営

公式ホームページによる情報発信を積極的に行い、また、SNS による発信として Twitter と Facebook、YouTube による情報発信も行い、多くの方々に閲覧頂き社協 PR に努めた。

（２）南三陸町福祉健康まつり 2024「4 年ぶりだよ全員集合!!笑・喜・愛・会」

・開催日　　2023 年 11 月 11 日(土)10：00～14：00
・開催場所　　南三陸町ベイサイドアリーナ
・実行委員会　26 団体【負担金等による実施】
・協力団体等　10 団体
・参加者数　　400 名

NO	月　　日	内容等	方法	人数
1	7 月 20 日	実行委員会	オンライン	16
2	9 月 14 日	実行委員会	オンライン	19
3	10 月 23 日	実行委員会	対面	20
4	11 月 11 日	南三陸町福祉健康まつり	対面	400
5	12 月 14 日	実行委員会(振り返り)	対面	22

（３）視察/ヒアリング受入れ

NO	月　　日	団　体　名　等	人数
1	4 月 6 日	宮城復興庁気仙沼支局	3
2	4 月 7 日	(株)三陸新報社	1
3	4 月 7 日	アミタホールディングス(株)	1
4	4 月 21 日	東松島市・東松島市社会福祉協議会	5
5	4 月 26 日	(株)河北新報社南三陸支局	1
6	5 月 2 日	(株)エスカ	1
7	5 月 15 日	熱海女性連絡会	10
8	5 月 16 日	(株)三陸新報社	1
9	5 月 23 日	FEEL Do	2
10	5 月 24 日	ミヤギテレビ	1
11	5 月 24 日	(株)三陸新報社	1

12	6 月 2 日	(株)河北新報社南三陸支局	1
13	6 月 8 日	栃木県傾聴ボランティア“ほのぼの”	15
14	6 月 9 日	柴田町社会福祉協議会・洲本市社会福祉協議会	2
15	6 月 22 日	(株)三陸新報社	1
16	6 月 28 日	南三陸高校	10
17	7 月 3 日	全労済労働組合職員	12
18	7 月 7 日	台湾研修生	7
19	8 月 22 日	東京家政大学	4
20	8 月 29 日	宮城県社会福祉協議会	1
21	9 月 4 日	南三陸町議会議員	1
22	9 月 4 日	日本社会事業大学教授	3
23	9 月 7 日	岩沼市民生委員児童委員協議会	27
24	9 月 15 日	ウイメンズアイ、ヤフー株式会社	2
25	9 月 20 日	トヨタ・スマートモビリティ基金	2
26	9 月 21 日	トヨタ自動車東日本(株)	3
27	9 月 29 日	石巻市門脇地区民生委員児童委員	8
28	9 月 29 日	トヨタ自動車東日本(株)	9
29	10 月 14 日	TMU 都市と住宅を考える会	13
30	10 月 27 日	滋賀県大津市社会福祉協議会	2
31	10 月 31 日	東北大学大学院教授	1
32	11 月 2 日	茨城県北茨木市社会福祉協議会磯原支部	22
33	11 月 15 日	丸森町社会福祉協議会	32
34	11 月 22 日	公益財団法人地球環境戦略研究機関	3
35	11 月 24 日	志津川小学校 4 年生	30
36	12 月 7 日	読売新聞東京本社石巻支局	1
37	12 月 8 日	NHK 仙台放送局	1
38	12 月 12 日	読売新聞東京本社石巻支局	1
39	12 月 22 日	NHK 仙台放送局	1
40	1 月 9 日	美里町社会福祉協議会	3
41	1 月 23 日	(株)河北新報社南三陸支局	1
42	1 月 23 日	(株)三陸新報社	1
43	1 月 23 日	南三陸 311 メモリアル	2
44	1 月 24 日	登米市社会福祉協議会中田支部	10
45	1 月 24 日	東北学院大学生	4
46	1 月 24 日	読売新聞社	1
47	1 月 26 日	東日本放送	1

48	2 月 1 日	大正大学学生	5
49	2 月 2 日	東北学院大学学生	6
50	2 月 6 日	日経新聞	1
51	2 月 15 日	(株)河北新報社南三陸支局	1
52	2 月 15 日	(株)三陸新報社	1
53	2 月 27 日	(株)河北新報社南三陸支局	1
54	3 月 15 日	福島県社会福祉協議会視察	4
55	3 月 31 日	日本社会事業大学大学院ゼミ生	20
合　計			304

（4）講師等派遣事業【依頼先/開催場所】

NO	月日	研修名（開催場所）	方法	人数
1	5 月 19 日	宮城学院女子大学(結の里)	オンライン	120
2	7 月 17 日	地域福祉・ボランティア事例発表会(大河原町)	対面	30
3	9 月 20 日	日本社会事業大学地域共生研修(結の里)	オンライン	100
4	11 月 1 日	日本社会事業大学ゲストスピーカー	オンライン	150
5	12 月 9 日	東北学院大学 CSW 養成講座	対面	3
6	1 月 31 日	いきいき学園登米栗原校(登米市)	対面	150
7	2 月 17 日	登米市地域福祉フォーラム講師	対面	200
合　計				753

（5）ワークショップ等の開催

NO	月日	内容等	関係団体	人数
1	6 月 21 日	梅干しづくりワークショップ	地域住民	2
2	9 月 6 日	スマホ教室①	仙台応用情報学研究振興財団	5
3	9 月 8 日	スマホ教室②	仙台応用情報学研究振興財団	6
4	9 月 13 日	スマホ教室③	仙台応用情報学研究振興財団	7
5	9 月 15 日	スマホ教室④	仙台応用情報学研究振興財団	7
6	9 月 19 日	スマホ教室⑤	仙台応用情報学研究振興財団	4
7	9 月 22 日	スマホ教室⑥	仙台応用情報学研究振興財団	6
8	9 月 27 日	スマホ教室⑦	仙台応用情報学研究振興財団	5
9	9 月 29 日	スマホ教室⑧	仙台応用情報学研究振興財団	7
10	11 月 29 日	キウイフルーツ摘み取り	双苗地区農家さん	2
11	3 月 6 日	エプロンワークショップ①	みなはぴ南三陸	10
12	3 月 7 日	エプロンワークショップ②	みなはぴ南三陸	9
合　計				70

（６）住友理工あったか基金事業　　1,500 食×700 円＝1,050,000 円

株式会社住友理工職員による地域支援事業の一環として、本会に対しご支援をいただいた。内容については地域コミュニティづくりへのお弁当支援とし、町内弁当業者への経済効果(還元)も視野に実施した。

（７）ほっとバンク事業

日常の見守りや支え合いの重要性を共有し、イベント等のボランティア活動を実施した。

〇R5 年度末　登録メンバー213 名/年間活動数 796 名　〇協力店　60 団体（店舗）

〇ほっとバンクボランティア活動

NO	日　　時	内　　容	参加人数
1	6 月 5 日	震災復興祈念公園除草作業	21
2	7 月 7 日	研修会①「つながりワーカー養成研修」	14
3	7 月 14 日	震災復興祈念公園除草作業	16
4	9 月 8 日	震災復興祈念公園除草作業	21
5	11 月 13 日	研修会②「オラから始める地域の底上げ」	36
6	2 月 1 日	移動研修会③「宮城県地域共生社会推進会議」	19

（８）救急医療情報キット「いのっちくん」事業

民生委員等と連携し心身に不安を抱える住民にキットを支給、自宅の冷蔵庫等に保管し有事に備え、また、南三陸消防署とも連携協力を継続している。

内　　容	令和 4 年度	令和 5 年度
いのっちくん所持者	505 人	516 人
南三陸消防署活用数	38 件	27 件

（９）SOS フラッグ事業

救急医療情報キット「いのっちくん」を所持している全世帯を対象に希望者へ SOS フラッグを配布し見守りの一助とし、民生委員の協力を得て進めている。

※410 世帯所持

(10) 虹のバトン事業

公的なサービスでは賄えない隙間事業（生活支援事業）に対し、本人及び介護支援専門員や専門職より依頼を受け実施した。

※R5 年度件数１０７件

月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
件数	6	6	１０	5	6	１０
月別	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	9	１６	１１	9	8	１１
合　　計				１０７件		

(11) ボランティアセンターの運営　　※R5 年度４９件２７９数名

県外町内ボランティアの受入れ、及び活動を他の関係機関とも連携し実施した。

＊活動例・・・南三陸町復興祈念公園除草活動等　（79 名）

〇R5 年度ボランティア活動人数　（町内 236 名・町外 43 名）

●ボランティア保険加入状況

月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
件数	３１４	３７	２０	４０	3	9
月別	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	0	0	3	6	2	3
合　　計				437 件(R4 年度 392 件)		

●ボランティア行事用保険加入状況

月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
件数	３０２	２９６	３５６	２５０	４４	３２７
月別	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	４９１	３１１	２３０	２０	２７５	２２８
合　　計				3,130 件(R4 年度 3,877 件)		

(12) 福祉共育事業

「普通の暮らしのしあわせ」をテーマに、福祉講話と実技を体験し、社会的に不利な条件にある立場を入れ替え、相手の気持ちに寄り添う授業を実施した。

① 6/8　戸倉小学校 5 年生(9 名)：キャップハンディ体験

② 7/7　歌津中学校 3 年生(24 名)：キャップハンディ体験

③ 8/29 歌津中学校 3 年生(24 名)：高齢者体験及び妊婦体験

④ 8/30 歌津中学校 3 年生(24 名)：地域づくりワークショップ

(13) 防災共育

子どもから大人まで楽しみながら防災を学ぶ「防災すごろく」「持ち出し品ゲーム」を実施。月 1 回南三陸 311 メモリアルを会場に、地域の方や観光で来町された方々を対象に、防災ゲームを通して「助け合いの大切さ」について考えるきっかけとなることを目的にしている。　　合計 151 名

月日	9 月 5 日	10 月 14 日	11 月 9 日	1 月 11 日	2 月 8 日	3 月 14 日
人数	5	50	60	12	7	17

❷結の里３本柱事業【地域福祉係全体】

赤ちゃんから高齢者まで誰もが気軽に集える居場所づくりを推進し、住民が主体性と役割を持って暮らせるよう、結の里運営協議会及び実行委員会を中心に活動を展開した。

1) 運営協議会の開催　2) 各実行委員会の開催　3) 毎月結情報発行(限定 1,500 部)

（1）えんがわカフェ

月曜日～金曜日の８：30～17：00 まで営業　　【イベント時は土日祝も開店】

○月曜日/野菜朝市/ボアラズ弁当　○火曜日/クレープ屋　○水曜日/いずみパン

○木曜日/ベルボーイパン　○金曜日/杏樹の森お惣菜【移動販売(電気)30 分 50 円】

○カフェ・結ＢＯＸ利用料収入（月 100 円利用料）　現在　16 名利用

○月別売上　　R5・月平均 52,186 円 R4・月平均 38,180 円

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
売上金	55,484	46,360	46,650	55,300	43,550	62,850

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
73,050	61,400	36,700	50,150	23,300	71,440	626,234

（2）イベント関係　＊イベント実行委員会が主催

日　　時	内　　容	活動場所	人数
4 月 12 日(水)	ちいさなたがい市	中央行政区集会所	75
4 月 29 日(土)	結の里 7+5 周年記念イベント	結の里・志津川東第 2 集会所	400
5 月 10 日(水)	ちいさなたがい市	入谷四季の里	104
6 月 21 日(水)	ちいさなたがい市	戸倉波伝谷漁港	96
7 月 12 日(水)	ちいさなたがい市	戸倉沖田行政区集会所	83
7 月 16 日(日)	兵庫県立西脇高等学校ボランティア交流会	入谷公営住宅	100
7 月 28 日(金)	ミキベイビーコンサート	結の里	40
7 月 29 日(土)	トコヤッサイコンテスト	志津川漁港	43
8 月 27 日(日)	＊結の夏祭り＆24 時間チャリティイベント	結の里	235
9 月 6 日(水)	ちいさなたがい市	名足公営住宅集会所	54
9 月 20 日(水)	地域交流コンサート【フルート】	結の里	37
10 月 11 日(水)	ちいさなたがい市	港親義会館	74
10 月 17 日(火)	＊走らない大運動会	東西中央広場	173
10 月 28 日(日)	みんなの音楽祭	結の里	154
10 月 31 日(火)	あさひ幼稚園ハロウィン交流イベント	結の里	50
11 月 1 日(水)	ちいさなたがい市	志津川西第 2 集会所	69
11 月 5 日(日)	防災クック	結の里	16
12 月 6 日(水)	宮城県デジタルデバイト解消支援事業 旅する集いの場【オンライン】	結の里	13

12 月 7 日(木)	宮城県デジタルデバイト解消支援事業 デジタルダンベル体操【オンライン】	結の里 各公営住宅集会所	77
12 月 17 日(日)	結のまんぷくまつり	結の里	124
1 月 11 日(木)	一日警察署長による防犯教室	結の里	70
1 月 12 日(金)	我笑イベント	結の里	134
3 月 14 日(木)	＊シン・みなと座映画上映会	ベイサイドアリーナ	165
合　　計			2,386

（3）みんな食堂　　【参加費 300 円】

＊コロナ対策によりテイクアウトやデリバリー実施。
　実行委員会や地域の協力員の力を借りて運営した。

① みんな食堂　開催 11:30～13:00　参加費 300 円～(材料・保険)

日　　時	内　　容	参加人数
4 月 21 日(金)	油麩うどん&おにぎり	211
5 月 26 日(金)	おいなり＆サラダ、スープ	224
6 月 16 日(金)	ひじきご飯&はっと汁	224
7 月 21 日(金)	冷やし中華	234
8 月 27 日(日)	結の夏祭り焼きそば提供【250 食】	－
9 月 13 日(水)	夏野菜カレー	214
10 月 20 日(金)	かぼちゃ粥	203
11 月 17 日(金)	豚汁＆新米ご飯、鮭のホイル焼き	232
12 月 22 日(金)	カレーライス＆シーフードサラダ	237
2 月 16 日(金)	あずきばっとう＆酢の物	233
3 月 15 日(金)	３色丼&お団子	236
	合　　計	2,248

※12 月 22 日(金)はイベント実行委員とコラボでクリスマス食堂開催

❸災害公営住宅 LSA 事業：受託事業

６０戸以上の災害公営住宅集会所の高齢者生活相談室に生活援助員を 1～２名配置し、個別支援、自治会運営等にかかるコミュニティ活動支援の両輪で活動を行った。

また、結の里事業を通じ、近隣住民との交流の場づくり、支え合いの浸透により住民力を発揮できるよう促しながら、個々の役割づくりやエンパワメントを推進した。

事務所　　本部事務所(結の里)・伊里前・戸倉・東東・東西・西・中央

① 職　員:正職員　１名（兼務）　生活援助員 9 名

② 見守り総数：5,402 件　　電話件数：2,055 件　来所総数：5,037 件
関わり総数：47,656 件　　相談件数:489 件

③ 活動内容：体操・運動 8,466 名　地域間交流 3,357 名　住宅内交流 1,791 名

④ ミーティング：毎週火曜日朝 9 時から情報共有会議を開催

⑤ 毎月第 2 火曜日午後より地域福祉係全体による月例総括会議を開催

⑥ 毎月実施の社協職員全体研修(スキルアップ研修)に参加

⑦ 地域づくりのあれこれ(自治会役員等研修会)のファシリテーション

⑧ 個別支援及びコミュニティ支援を両輪で展開

月　　日	研修内容	実施場所	参加人数
5 月 30 日(火)	「合鍵」について	志津川東第 2 集会所	36
2 月 6 日(火)	「地域課題」「役員担い手」について	志津川東第 2 集会所	36

＊その他、結の里イベント、みんな食堂、えんがわカフェ等に協力

❹生活支援コーディネート事業：受託事業

（第１層１名・第２層１名）

地域住民が主体となった生活支援・介護予防サービスの充実が図れること、地域の担い手を育成しながら支え合いの輪を広げていくことを主眼とし、介護保険サービスが必要になった際も地域とのつながりを切らさないようサポートし、地域住民及び介護支援専門員等への情報提供を積極的に行った。また、地域で実施しているサロン事業の点を線でつなぐ役割を持ち、町民がいきいき元気に暮らすため、健康寿命の延命に向け、地域みんなで暮らしを支える仕組みづくりを推進した。

①関わり団体件数　　合計 135 団体

志津川地区	入谷地区	歌津地区	戸倉地区
41	18	26	12

町内全域	NPO・企業
8	30

②研修・連携内容

＊毎月１回地域包括支援センターとの月例会を開催し情報共有及び方向性を確認。

＊隔月１回第３月曜日に関係機関との地域支援ミーティングを開催。

＊LSA と共に週に一度の朝ミーティングを実施し情報の共有を実施。

＊隔月毎に社協内の地域福祉会議に参加し情報の共有を実施。

＊石巻市・女川町・東松島市・登米市・南三陸町の生活体制整備事業担当者合同開催に

よる定期的な研修を実施し、近隣市町の活動状況の把握や情報の共有を実施。
＊南三陸町福祉健康まつり実行委員会事務局として連絡調整を行った。
③その他の事業実施・研修参加状況

No	月　　日	活動内容	場　所
1	4 月 21 日（金）	第 19 回さんサンポートプロジェクト	上ノ山八幡宮社務所
2	5 月 11 日（木）	介護支援専門員情報交換会	総合ケアセンター
3	5 月 22 日（月）	暮らしとコミュニティ推進部会検討会①	総合ケアセンター
4	5 月 23 日（火）	第 20 回さんサンポートプロジェクト	上ノ山八幡宮社務所
5	5 月 30 日（火）	自治会研修会～地域づくりのあれこれ～	志津川東第 2 集会所
6	6 月 29 日（木）	第 1 回暮らしとコミュニティ推進部会	ベイサイドアリーナ
7	7 月 7 日（金）	生活支援担い手養成講座	ベイサイドアリーナ
8	7 月 25 日（火）	暮らしとコミュニティ推進部会検討会②	総合ケアセンター
9	7 月 25 日（火）	南三陸町老人クラブ連合会総会	総合ケアセンター
10	7 月 28 日（金）	宮城県生活支援コーディネーター養成研修①	フォレスト仙台
11	8 月 23 日（水）	第 22 回さんサンポートプロジェクト	役場本庁舎マチドマ
12	8 月 29 日（水）	宮城県生活支援コーディネーター養成研修②	フォレスト仙台
13	9 月 25 日（月）	第 23 回さんサンポートプロジェクト	役場本庁舎マチドマ
14	9 月 27 日（水）	戸倉コミュニティ推進協議会はつらつシニア大会	戸倉公民館
15	9 月 28 日（木）	生活支援体制整備事業「なぜ社協？これからどうする？どうなる？」研修会	登米市中田町
16	9 月 29 日（金）	地域の掘り出し市＠南三陸～活動発表会～	ベイサイドアリーナ
17	10 月 11 日(水)	暮らしとコミュニティ推進部会検討会③	総合ケアセンター
18	10 月 27 日(金)	宮城県生活支援コーディネーター養成研修③	東京エレクトロンホール宮城
19	11 月 13 日(月)	ほっとバンク研修会～オラから始める地域の底上げ～	ベイサイドアリーナ
20	11 月 21 日(火)	介護家族交流会	総合ケアセンター
21	11 月 30 日(木)	自主活動グループ交流会＠町内全域	ベイサイドアリーナ
22	12 月 4 日（月）	第 2 回暮らしとコミュニティ推進部会	ベイサイドアリーナ
23	12 月 7 日（木）	デジタルデバイト解消支援事業交流会	オンライン
24	12 月 14 日(木)	介護支援専門員情報交換会	総合ケアセンター
25	12 月 19 日(火)	宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議市町村情報交換会	登米市
26	1 月 22 日（月）	第 1 回市町村セミナー研修会	オンライン
27	2 月 6 日（火）	自治会研修会～地域づくりのあれこれ～	志津川東第 2 集会所
28	2 月 8 日（木）	暮らしとコミュニティ推進部会検討会④	結の里
29	2 月 16 日（金）	南三陸町地域包括ケア推進協議会	総合ケアセンター
30	2 月 29 日（木）	市町村伴走型支援事業等事例報告会	オンライン
31	3 月 5 日（火）	南三陸町いきいき百歳体操交流会	総合ケアセンター
32	3 月 22 日（金）	第 3 回暮らしとコミュニティ推進部会	ベイサイドアリーナ

❺デマンド事業：受託事業

7月から運行が始まったデマンド型乗り合いバスの運営や企画、住民へ周知や利用登録の促進、予約端末の案内や設置、不具合の対応、利用者のサポートをしながら住民同士の交流の要となるよう南三陸GOTO協議会(南三陸町、トヨタ自動車東日本株式会社、歌津交通)と連携しながら実施した。

①登録者数：2,444名　　②端末総数：496名　　③不具合件数：83件

④訪問件数　　合計:延べ277名

6月	7月	8月	9月	10月
１９	５０	１４	３５	２６
11月	12月	1月	2月	3月
２５	２９	２３	３０	２６

⑤利用実績（一日平均）

地区	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入谷		9	9	9	9	１１	１２	１２	１３	１５
歌津						5	8	7	１０	１０

⑥連携内容

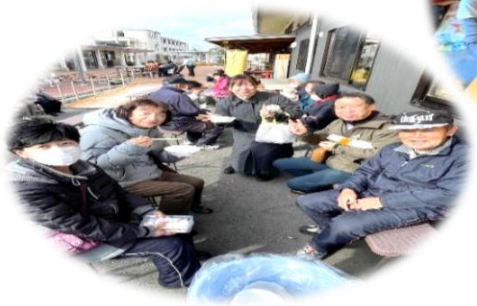
＊毎朝、南三陸GOTO協議会とオンラインでミーティングを実施。

＊毎週火曜日朝9時から地域福祉係全体の朝ミーティングに参加、情報共有を実施

＊毎月第2火曜日午後より地域福祉係全体による月例総括会議に参加し情報共有を実施。

＊定期的にSmartGOTO南三陸なんでも相談会を開催し、デマンドバス利用者の声を聞きながら利用促進に繋げている。　　合計44名

No	月　日	開催場所	人数	4	1月23日(火)	ハマーレ歌津	1
1	12月13日(水)	役場マチドマ	2	5	1月30日(火)	結の里	6
2	12月14日(木)	ハマーレ歌津	2	6	2月29日(木)	ハマーレ歌津	3
3	12月19日(火)	結の里	20	7	3月19日(火)	結の里	10



３－３在宅福祉事業　　介護福祉課通所介護事業

❶南三陸町デイサービスセンターうたつ（通所介護・第１号通所事業）

（１） 事業全体評価

可能な限り自立した日常生活が送れるよう、又、介護負担軽減できるよう急な臨時利用の対応も行った。また、独居や高齢者夫婦の支援については、自宅での生活が続けられるよう張り合いや楽しみなど社会的孤立の解消に努めた。利用者一人ひとりの意向に添った個別機能訓練を実施し、全体活動も個々に合わせ対応した。

地域住民との交流も兼ね、住民ボランティアによる、お茶出しや活動補助、話し相手等の受け入れを実施した。又、環境整備の一環として、同ボランティアによる窓掃除等の清掃活動も実施した。

（２）取り組み状況

①サービス向上

研修会に積極的に参加し、その内容を事業所内で振り返りを行い、取り組んだが時間の経過とともに元に戻ることがあった。

②接遇

利用者に対しての言葉使いは、以前より丁寧で柔らかい言葉掛けや穏やかな表情で接し傾聴もおおむね出来た。

③業務改善

業務の問題点など帰りのミーティングで検討し、管理者の意見ではなく職員間で意見を出し合い業務改善に取り組んだ。

職員間での声掛けにより研修内容を仕事に生かす工夫や姿勢が見られた。

（３）年間行事実施状況

実施期間	月	行　事	内　容
4/18～4/22	4 月	平成の森お花見	平森レストラン前の桜をバックに記念撮影。
5/10～5/13 5/16～5/18	5 月	つつじ見物	田束山へ車でつつじを見学。
6/13～6/17	6 月	外でカフェ	藤棚の下でお茶会を実施。
7/1 ～7/7	7 月	七夕飾り作成	折り紙を使用し自宅で飾る七夕を作成。
8/8～8/12	8 月	夏祭り	金魚を作り、魚釣りゲームなど実施。
9/19～9/23	9 月	敬老会	職員による催し物を披露しお祝い。
10/30～11/4	10 月	紅葉狩り	払川ダムに紅葉見学。
11/7～11/11	11 月	運動会	パンに見立てた物取り競争等競技を実施。
12/19～12/24	12 月	クリスマス会	おやつにケーキを食し、ツリーの作成。
1/4 ～1/6	1 月	新年の抱負	今年の目標を書き出し抱負を共有。
1/30～2/3	2 月	鬼退治	鬼の的を狙い倒れるまでお手玉を投げた。
2/20 ～24	3 月	雛祭り	千代紙などを使いお内裏様とお雛様を作成。

随時	毎月	お誕生会	誕生者を皆でお祝い。
随時	11 月 12 月 7 月	豚汁作り 干し柿作り 裁縫教室	畑で栽培した野菜を収穫し豚汁を作った。 平森の柿を剥き干し柿を作った。 はぎれを使いコースターを作った。

（4）研修実施状況

月　日	研修内容	参加人数	
5 月 17 日	認知症の人の理解と対応について	6 名	外部
7 月 19 日	リスクマネジメント研修	5 名	外部
10 月 19 日	レクリエーション活動の取り組みについて	4 名	内部
11 月 15 日	認知症の人へのコミュニケーションの基本について	4 名	外部
12 月 20 日	職場内で上手くいくコミュニケーション	5 名	外部
12 月 26 日	高齢者虐待について	7 名	内部
12 月 27 日	身体拘束について	7 名	内部
R6.1 月 12 日	権利擁護研修会	1 名	外部
1 月 12 日	記録と要点とチームケア	1 名	内部
2 月 8 日	感染症対策とゾーニングについて	6 名	外部
3 月 1 日	生活援護事業について	5 名	内部
毎月	検討会	5 名	内部
毎月	業務改善会議	1 名	内部

（5）ボランティア等受入れ状況

月　日	氏　名（団体名等）	実人数	内　容
11 月	ほっとバンク	5 名	窓掃除など
不定期	ほっとバンク	2 名	午前の活動の補助

（6）利用実績

介護度	延人数	
	5 年度	4 年度
要介護１	１，４２９	９９３
要介護２	１，３２５	１，５３２
要介護３	８１６	１，０１８
要介護４	２２９	２３３
要介護５	３４	３２
要支援１	３５５	２６５
要支援２	６７	２３５
事業対象者	０	０
合　計	４，２５５	４，３０８

❷南三陸町デイサービスセンターいりや（地域密着型通所介護・第１号通所事業）

（１）事業全体評価

感染予防対策として、日々の感染予防に加えコロナ感染症予防対策の研修、及び発生時のシミュレーションを定期的に実施しながら、その時々の状況に応じ利用者が楽しく飽きさせない時間を設け、施設内外の行事やレクリエーションを実施した。

自立支援を目的に個別活動に力を入れ、利用者一人ひとり意欲的に出来る活動、取り組める活動を自主的に実施した。

地域密着型デイサービスとして、町内学生や舞踊ボランティアの受け入れ、地域住民参加の消防訓練を実施、地域との交流の機会も提供できた。

（２）取組み状況

①サービス向上

毎日の振り返りを実施し、検討結果や今後の方針を記録し、職員間の連携を図った。又、多職種連携の徹底と情報共有も強化し、サービス提供において利用者の視点に立った柔軟な対応が行えた。

②接遇

利用者の尊厳を守り孤立しないよう一人ひとりに話題を提供するなど、常に利用者と同じ目線を心掛け、家族とのコミュニケーションを図るなど、信頼関係の構築に努めた。

③業務改善

職員誰もが継続的に書類整理整頓が出来るよう心掛け、それにより効率的効果的な業務を行うことが出来た。

（３）年間行事実施状況

実施期間	月	行　事	内　容
4/18～4/23	4 月	お花見	ひころの里等で桜見物と水仙ロードを見物。
5/17～5/21	5 月	菜園作り	プランターに野菜の種や苗を植えた。
6/20～6/22	6 月	散策	ひころの里松笠屋敷へ散策。
7/11～7/15	7 月	納涼祭（七夕）	短冊に願い事を書き、七夕を作り、ゲームを行った。
8/21～8/26	8 月	夏祭り	金魚すくいなどで夏祭りの雰囲気を味わい楽しんだ。
9/18～9/23	9 月	敬老会	職員の芸や踊り、利用者の歌や踊りで敬老をお祝い。
10/16～10/21	10 月	運動会	紅白対抗パン取り競争や風船綱引き等を行った。
11/13～11/18	11 月	紅葉見物	ひころの里松笠屋敷へ紅葉見学。
12 /4～12/9	12 月	クリスマス会	ツリーを個々に作成し完成品は持ち帰った。
1/8～1/13	1 月	新年会	皆で新しい年を祝い、ビンゴゲームをして楽しんだ。
1/29～2/3	2 月	節分	ペットボトルやお手玉を使い工夫し、厄払いをした。
3/4 ～3/9	3 月	ひな祭り	ホットケーキを利用者一人ひとりに焼いて頂き、ひな祭りの歌を歌ってお祝い。
随時	年間	誕生会	その月々の誕生者を歌などでお祝い。

（４）研修実施状況

月　日	研修内容	参加人数	
4 月 20 日	社協職員研修(災害時対応マニュアル)	7 名	内部
5 月 3 日～6 日	介護現場でのハラスメントの対策や予防	7 名	内部
5 月 17 日	認知症フォローアップ研修	7 名	内部
6 月 15 日	感染症の基礎知識と対策について	7 名	内部
7 月 19 日	リスクマネジメント研修	7 名	内部
8 月 23 日	承認とは（認めること）	7 名	内部
9 月 20 日	社協職員研修（介護の仕事とプライバシー）	7 名	外部
10 月 19 日	レクレーション（誰もが一緒に楽しめる体操）	7 名	外部
11 月 15 日	認知症の人へのコミュニケーションの基本と理解	7 名	外部
12 月 21 日	職場内で上手くいくコミュニケーション	7 名	外部
12 月 25 日	高齢者虐待について	7 名	内部
12 月 27 日	拘束について	7 名	内部
R6.1 月 21 日	権利擁護研修会	1 名	外部
1 月 22 日	接遇研修	7 名	内部
2 月 15 日	生活援護事業について	7 名	内部
3 月 13 日	石川県珠洲市災害ボランティア活動報告会	7 名	内部

（５）ボランティア等受入れ状況

月　日	氏　名（団体名等）	人　数	内　容
8 月 26 日	黒龍会	42 名	舞踊ボランティアで来所し踊りを披露。
9 月 12 日 ～14 日	南三陸高校 ジュニアインターンシップ	２名	利用者と交流、施設の活動等を学んだ。

（６）利用実績

介護度	延人数	
	5 年度	4 年度
要介護１	２，０５１	２，２３６
要介護２	１，２９０	１，４２７
要介護３	５９６	４０６
要介護４	４５９	２３３
要介護５	１０	３
要支援１	１４８	１５６
要支援２	３３	０
事業対象者	１３７	５９
合　計	４，７２４	４，５２０

❸南三陸町デイサービスセンターとぐら（地域密着型通所介護・第１号通所事業）

（１）事業全体評価

新型コロナウイルス感染症の影響で様々な制限のある状況の中であっても、予防策を徹底し、一人ひとりのニーズに合わせたサービス提供に努めた。

アットホームな雰囲気の中、利用者が楽しく通えるよう個々に合わせた趣味活動を重視し、意欲的に取り組んだ。

（２）取組み状況

①サービス向上

全職員の統一したサービス提供を目指し、定期的なカンファレンスを実施。利用者の日々の身体状況に応じたサービスを提供し、利用者及び家族の思いや要望に応えるよう取り組んだ。

②接遇

言葉遣いに十分配慮し、相手の気持ちに寄り添うよう努めた。利用者だけでなく家族とのコミュニケーションも大切にし、信頼関係を築くことに努めた。

③業務改善

職員間での声掛けを心掛け、日々の申し送りやミーティング等でスタッフ一人ひとりが意見を出し合い、スムーズな連携が図れるよう努めた。

（３）年間行事実施状況

実施期間	月	行　事	内　容
4/8～4/10	4 月	お花見	クリーンセンターへ桜見物及び散策。
4/24～5/3	5 月	端午の節句	鯉のぼりの絵に色を塗り,デイ内に飾る。
6/19	6 月	散策	神割崎へ行き、外を散策し季節感を味わった。
6/21	6 月	プランター畑栽培	プランター畑に野菜の苗を植え、育てた。
7/3～7/12	7 月	納涼祭	七夕作りや短冊に願い事を書き、飾りを作り壁に飾った。
8/7～8/9	8 月	夏祭り	屋台をモチーフに、太鼓焼きを皆で作り食べた。
9/20～9/25	9 月	敬老会	カラオケやゲームをして楽しみ、祝品を贈呈。
10/13～10/18	10 月	運動会	パン取り競争等を紅白に分かれて競った。
11/20～11/22	11 月	紅葉見物	送迎車にて町内の紅葉見物。
12/18～12/23	12 月	クリスマス会	ツリーを飾り,歌やゲームで楽しんだ。
1/6～1/8	1 月	新年会	利用者とスタッフで新年をお祝い。
1/31～2/5	2 月	節句	厄払いの豆まき。
2/17～3/1	3 月	雛祭り	雛祭りを作成し飾った。
	随時	お誕生会	月の誕生者を皆でお祝い。

（４）研修実施状況

月　日	研修内容	参加人数	
4 月 19 日	非常災害時の対応	５名	内部
5 月 17 日	認知症フォローアップ研修	５名	内部
6 月 15 日	感染対策	５名	内部
7 月 19 日	リスクマネジメント	５名	内部
8 月 23 日	コミュニケーションツール　対人援助	５名	内部
9 月 15 日	認知症ケア推進研修会　基礎編	1 名	外部
9 月 20 日	プライバシー保護	５名	内部
10 月 19 日	レクリエーション技法	５名	内部
11 月 15 日	認知症の人へのコミュニケーションの基本と理解	５名	内部
12 月 20 日	メンタルヘルスマネジメント	５名	内部
12 月 25 日	身体拘束	５名	内部
12 月 27 日	虐待防止	５名	内部
R6.1 月 12 日	記録の要点とチームケア	１名	外部
1 月 15 日	感染症対策	５名	内部
1 月 18 日	接遇	５名	内部
2 月 15 日	生活援護事業について	５名	内部
3 月 13 日	石川県珠洲市災害ボランティア活動報告会	5 名	内部

（５）ボランティア等受入れ状況

コロナウイルス感染症予防対策の為なし。

（６）利用実績

介護度	延人数	
	5 年度	4 年度
要介護１	５４１	４４８
要介護２	５３０	５６９
要介護３	３５４	３６０
要介護４	１１５	２４４
要介護５	８３	４３
要支援１	１７８	８０
要支援２	１２６	６５
事業対象者	6	４４
合　計	１，９３３	１，８５３

❹南三陸町デイサービスセンターしづがわ（地域密着型通所介護・第１号通所事業）

（１）事業全体評価

個別機能訓練実施の利用者の意欲的な取り組みもあり、歩行状態の安定や自力歩行への機能向上を図ることが出来た。

新型コロナウイルス感染予防対策を細目に行い、利用者や家族の身体状況の聞き取り等行いながらサービス提供に努めた。

（２）取組み状況

①サービス向上

利用者や家族の意向に耳を傾け聞き取り、利用者の身体状況に応じて安全に現在の状態を維持できる対応を心掛け対応した。

②接遇

相手の気持ちに寄り添い言葉遣いに気を付けながら、思いやりの心で接することを心掛けた。

③業務改善

日々の申し送りやミーティング等で利用者の情報をスタッフ間で把握し、一人ひとりが責任をもった対応に努めた。

（３）年間行事実施状況

実施期間	月	行　事	内　容
4/5～4/11	4 月	お花見	町内のお花見スポットを車内や車輌から降りて見物。(東山・八幡神社付近・クリーンセンター等)
5/24～5/29	5 月	鯉のぼり作成	折り紙やストローを利用して鯉のぼりを作成しフロアに飾り、その後自宅へ持ち帰った。
7/3～7/6	6 月	散策	下肢等筋力低下予防の為、施設周囲を散歩し季節の風景を楽しんだ。
7/24～7/29	7 月	外出支援	買物支援や近隣カフェで交流を図った。(各自 100 円で好きな飲み物を注文して飲んだり、買物をして楽しんだ)
8/7 ～8/12	8 月	夏祭り	金魚すくいや射的ゲームをし、夏祭りの雰囲気を味わった。
9/18～9/23	9 月	敬老会	スタッフによる踊りを披露し敬老をお祝い。
10/9～10/13	10 月	運動会	紅白に別れて風船綱引きや玉入れなど行い楽しんだ。
11/3～11/9	11 月	紅葉見物	歌津払川ダム付近やひころの里の紅葉を見物。
12/4～12/9	12 月	飾り作成	クリスマス飾りを個々に作成し自宅へ持ち帰った。
12/18～12/23	12 月	クリスマス会	クリスマスプレゼントありのゲームを実施。
1/15～1/20	1 月	新年会	舞踊ボランティアによる踊りを披露しお祝い。
1/29 ～2/3	2 月	節分鬼退治	ペットボトル鬼をボールを蹴って倒した。
2/26 ～3/3	3 月	ひな祭り	雛飾りを作成し自宅へ持ち帰り飾った。
随時		誕生会	その月々の誕生者をお祝い。

（４）研修実施状況

月　日	研修内容	参加人数	
4 月 12 日	デイサービスセンターいりやへ研修	１名	内部
4 月 19 日	非常災害時の対応について	５名	内部
5 月 17 日	認知症フォローアップ研修	９名	内部
6 月 15 日	「感染対策の基本と対策」について	９名	内部
7 月 19 日	リスクマネジメント　～未然に防ぐ方法を学ぶ～	９名	内部
8 月 23 日	コミュニケーションツール　対人援助	９名	内部
9 月 20 日	プライバシー保護について	９名	内部
10 月 19 日	レクリエーション技法	９名	内部
11 月 5 日	認知症の人へのコミュニケーションの基本と理解	９名	内部
11 月 17 日	令和５年度地域密着型サービス事業等集団指導	１名	外部
12 月 20 日	職場内で上手くいくコミュニケーション	９名	内部
12 月 25 日	高齢者虐待について	９名	内部
12 月 25 日	身体拘束について	９名	内部
R6.1 月 12 日	権利擁護研修会	１名	外部
1 月 18 日	接遇研修	９名	内部
2 月 22 日	生活援護事業について	９名	内部
3 月 13 日	石川県珠洲市災害ボランティア活動報告会	９名	内部
3 月 25 日	ゾーニング研修	９名	内部

（５）ボランティア等受入れ状況

月　日	氏　名（団体名等）	実人数	内　容
毎週火曜日	ほっとバンク	３名	見守り、ドライヤーかけ等
1 月 15 日～20 日	熊谷流	18 名	新年会の舞踊ボランティア

（６）利用実績

介護度	延人数	
	５年度	４年度
要介護１	１，４１０	１，４４３
要介護２	１，００５	９６０
要介護３	６７２	７７１
要介護４	２５７	１４３
要介護５	０	０
要支援１	１９７	１２９
要支援２	３２２	４０１
事業対象者	４７	６３
合　計	３，９１０	３，９１０

３－３在宅福祉事業　　介護福祉課居宅介護支援事業

南三陸居宅介護支援センター

（１） 事業全体評価

本人の有する残存能力や意向を最大限に生かし住み慣れた地域でその人らしい暮らしを継続出来るよう、利用者一人一人の状況把握に努めた。

関係機関との多職種連携が図れるよう情報の共有を常に意識し実践する事で様々な生活課題に対し、率直に協議し合う事ができ、迅速な対応に繋がり、チームケアに重要な信頼関係の構築が更に強化できた。

ターミナルケアの事例検討や研修会を通じ、自らが望む、人生の最終段階の医療・ケア、ケアマネジャーの役割について考え学んだ。ACP(人生会議)を通じ最期まで本人の意向に寄り添う支援の必要性や意義についても考えるきっかけとなった。

入退院の事例が多く、入院と同時に新規相談が前年同様数あったが、ケアプラン作成のみで施設入所に方向転換となるケースが圧倒的に多かったため、実績に繋がらない実情があった。夏越・冬越の定期入所者も一定数あった。

（２）取組み状況

① サービス向上

特定事業所加算算定事業所として法令を遵守し、利用者の多様化するニーズに応えるよう、情報共有や研修、カンファレンス等を定期的に実施した。

相談を受けてからサービス利用につながるまでの間を迅速に行えるよう、わかりやすい説明を心掛け取り組んだ。繋いだ後、適正にサービス利用できているか確認相談し、感じた不満や質問にも丁寧な説明に努めた。

② 接遇

誰にでもわかりやすいケアマネジメントを実践できるよう、見てわかる資料を整備した。また、個々のケアプランに身近な社会資源の位置づけを意識できるよう、地域の企業・行政・施設・福祉団体等との交流を定期的に行った。

③ 業務改善

事業所として一定の水準でケアマネジメントを実施、提供できるよう、手順やマニュアル等の見直し、スキルアップに努めた。

（３）研修実施状況

月　日	研修内容（内部・社協全体研修）	参加人数	
4 月 17 日	法令遵守・CM の倫理網領についての研修	４名	内部
4 月 20 日	非常災害時の対応／三浦事務局長	４名	社協
5 月 8 日	居宅支援事業所　非常時、緊急時対応体制の周知確認共有	４名	内部
5 月 11 日	介護支援専門員情報交換会①	２名	外部
5 月 17 日	認知症の人の理解と対応	４名	社協
6 月 5 日	他法人合同スキルアップ研修Ⅰ（合同カンファレンス）	５名	内部
6 月 19 日	事例検討会①（現に抱える処遇困難ケースの具体的処遇方針）	４名	内部

6 月 15 日	感染症対策の基礎知識と対策について	４名	社協
6 月 26 日	福祉用具勉強会	４名	内部
7 月 13 日	令和５年度難病患者支援者研修会（気仙沼保健福祉事務所）	３名	外部
7 月 19 日	福祉事業のリスクマネジメント	４名	社協
7 月（1 か月間）	各種マニュアル見直し・整備・点検月間（手順他ファイリング）	４名	内部
8 月 8 日	ターミナルケアマネジメント研修（事例報告・ケアマネジャーの役割）	４名	内部
8 月 23 日	コミュニケーションツール（対人援助）	４名	社協
8 月 28 日	事例検討会②（現に抱える処遇困難ケースの具体的処遇方針）	１名	内部
9 月 4 日	ACP について ※人生の最終段階で受ける医療等関係者で事前に繰り返し話し合う取組	４名	内部
9 月 20 日	プライバシー保護について（10/10 内部で聴講）	４名	社協
9 月 25 日	ケアマネジメント手法の活用及び介護報酬改定事項について	４名	内部
9 月 26 日	依存症関連研修会（気仙沼保健福祉事務所）	１名	外部
9 月 29 日	地域の掘り出し市@南三陸　　～活動発表会～	３名	外部
10 月 3 日	事例検討会③（事例通じ、生活保護制度について学ぶ）	４名	社協
10 月 19 日	レクリエーション技法・研修	４名	内部
11 月 6 日	ヒートショック研修	４名	内部
11 月 15 日	身体拘束・虐待防止	４名	社協
11 月 27 日	医療講演会「在宅療養している方の災害時の備え」 （オンデマンド配信）	４名	内部
11 月 30 日	令和５年度自主活動グループ交流会　地域＋人＝つながり	２名	外部
12 月 4 日	他法人合同スキルアップ研修Ⅱ（合同カンファレンス）	５名	社協
12 月 14 日	介護支援専門員情報交換会②	３名	外部
12 月 20 日	メンタルヘルスマネジメント （職場でうまくいくコミュニケーション）	４名	社協
	ターミナルケアマネジメント研修（医療連携推進協議会主催）	４名	外部
1 月 12 日	権利擁護研修会（包括主催）	２名	外部
1 月 18 日	処遇研修（高齢者にとって私達は人生最期に出会う人）	４名	社協
1 月 22 日	足漕ぎ車椅子 COGY について	１名	外部
2 月 5 日	事例検討会④（現に抱える処遇困難ケースの具体的処遇方針）	４名	内部
2 月 15 日	ヤングケアラー研修（宮城県ケアマネジャー協会/オンライン）	３名	内部
	生活援護事業研修	４名	社協
3 月 13 日	石川県珠洲市災害ボランティア活動報告会	４名	社協

（４）実習（研修）生等受入れ状況

期　間	研修名	人　数
R6/2/5 ～ 2/9 （3 日間）	介護支援専門員実務研修実習受入 （指導／主任介護支援専門員）	１名 ＊他目標相談のみ１名

（５）事業実績【居宅介護支援費Ⅰ】

介護度及び単価	件　数	
	５年度	４年度
介護１～２　@10,760 円	７８３件	８５２件
介護３～５　@13,980 円	３８８件	４１４件
月遅れ分	４件	６件
初回加算　@3,000 円	４１件	４０件
入院時情報連携加算Ⅰ　@2,000 円	３５件	３４件
入院時情報連携加算Ⅱ　@1,000 円	２件	２件
退院・退所加算（連携Ⅰ～連携Ⅲ） @4,500 円～@9,000 円（5 段階あり）	８件	６件
通院時情報連携加算　@500 円	０件	１０件
ターミナルケアマネジメント加算　@4,000 円	０件	０件
特定事業所加算（Ⅱ）　@4,070 円	１，２６１件	１，３６４件

３－３在宅福祉事業　　介護福祉課訪問介護事業

南三陸町ヘルパーセンターまごころ（訪問介護・第１号訪問事業）

（１）事業全体評価

常に職員間で話し合いを持ちながら、チームワークを大切にサービス提供に努めた。

関係機関との情報提供を密にし、連携を図った。

（２）取組み状況

①サービス向上

研修参加後、再度職員での振り返りを実施したことにより、サービス提供等に研修内容を活かすことができた。

②接遇

利用者、ご家族の状況を踏まえながら傾聴することができた。

笑顔を心掛け対応した。

③業務改善

効率よく業務が遂行出来るよう書類整理や記入方法の見直しを図ったが改善には至らず、引き続き見直しが必要となる。

（３）研修実施状況

月　日	研修内容	参加人数	
5 月 17 日	認知症の人の理解と対応について	4 名	外部
6 月 15 日	認知症の基礎研修と対策について	4 名	外部
8 月 23 日	コミュニケーション及びスキルアップについて	4 名	外部
9 月 20 日	看取りに関する研修	4 名	外部
9 月 22 日	高次脳機能障害のある方の生活支援について	4 名	外部
10 月 19 日	レクリエーションについて	4 名	外部
11 月 15 日	認知症の人のコミュニケーションの基本の理解	4 名	外部
12 月 17 日	養護者による障害者虐待の防止と対策について	4 名	内部
12 月 20 日	職場内で上手くいくコミュニケーション研修	4 名	外部
12 月 27 日	身体拘束廃止について	4 名	外部
1 月 12 日	記録と要点とチームワークについて	4 名	外部
1 月 19 日	接遇研修	4 名	外部
2 月 16 日	感染予防対策について	4 名	内部
2 月 19 日	生活援護事業について	4 名	内部
不定期	ケースカンファレンス		

（４）実習（研修）生等受入れ状況

コロナウイルス感染症予防対策の為なし。

（５）利用実績

介護度	延人数		介護度	延人数	
	５年度	４年度		５年度	４年度
要支援１	８０	２７	要介護３	５８１	１，５２５
要支援２	０	０	要介護４	４８８	２６６
要介護１	７８７	５４１	要介護５	２７６	３７０
要介護２	５６１	６０５	合　計	２，７７３	３，３３４

３－４障害福祉サービス事業

南三陸町ヘルパーセンターまごころ（居宅介護・重度訪問介護）

コロナ感染拡大により３か月に１回の保健師等との会議は実施せずに毎月のモニタリングを提出、必要時連絡や報告、担当者会議等で利用者の情報を共有した。

《利用実績》

障害区分	延人数	
	５年度	４年度
知的障害	１７３	９２
精神障害	１４４	１６６
合　　計	３１７	２５８

３－５訪問介護事業介護保険外サービス事業

体調確認、状態の観察、おむつ交換、皮膚状態の観察、排泄（尿量、尿色、排便量等）の確認。ドライシャンプー、部分清拭、更衣、ポジショニング、室内換気、水分の声掛け等実施。必要時、ご家族、相談支援センターへの報告。

※5 年度利用はなし。

事業報告の附属明細書

令和５年度事業報告の内容に補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会